



学校トイレ改修、 エアコン設置計画つくれ

真野 和久 議員

箇所をはっきりさせて計画的に進める 市長

学校トイレの洋式化・改修、普通教室へのエアコン設置の状況は。

教育部長 トイレの洋式化率は、小学校が30・6%、中学校が30・1%。普通教室へのエアコンの設置は、佐織中学校以外の小中学校については未整備。

今後の改修計画は。また、どのくらいの期間で終わるのか。

教育部長 トイレ洋式化事業は、校舎はもとより、体育館、武道場なども含めると膨大な数となる。見通しは立っていない。ただ、毎年度事業実施ができるよう努めていきたい。エアコンの設置に関しては、将来的な課題。補助金頼みでなく、一定の範囲の中で計画しながらやっていくことが重要だ。「愛西市は一体どうなっているんだ」という声は非常に強い。計画を立てることについて市長に尋ねる。

市長に尋ねる。

市長 計画を持って推進していかなければならない。エアコンについては、児童・生徒数が減少している中、普通教室が1校にどれくらいあるのか、現状と今後の見通しを学校サイドと協議して、適切な整備教室数を把握した上で計画を策定し、進めていくことが必要だ。

トイレ改修も同様に、計画的に進めていきたい。

自主防災会に 具体的な支援を

高齢者など移動が難しい方にとって、現在の自主避難所は大変遠い。コミュニティセンターや公民館で開設出来るよう、町内会や自主防災会などへ協力依頼を検討しては。

市民協働部長 「コミュニティセンターを自主避難者受け入れ施設として増やすことも、災害の様相に応じて必要だと考えて

いる。町内会や自主防災会に自主避難者を受け入れてもらうことは現在のところ考えていない。

町内会、自主防災会、コミュニティ推進協議会が、自主避難者を受け入れる体制を整えていくという事は可能か。

市民協働部長 町内会などがルールづくりをして、自主的に受け入れることは、拒むものではない。

幾度となく自主防災会

の連絡会をつくるよう提案してきた。自主防災会が動くよう具体的な支援が求められているのでは。より具体的な行動を考えていく地区防災計画の作成を働きかけては。

市民協働部長 小学校区単位で連合組織を形成し、広域に事業ができるよう考えている。地域の事情に応じて決める地区防災計画については、今後、地域で計画があればサポートしていきたい。



▲岡崎市矢作北学区の地区防災計画書